

Case Study

CUSTOMER INTERVIEW

Vol. **1**

2013.11.29



鈴与自動車運送株式会社 様

運送管理システム「TOSS」により 運送サービスの効率的な管理を実現

鈴与自動車運送株式会社 代表取締役社長

堀川 安久 氏

鈴与商店石炭販売部自動車係を前身として1950年に設立された鈴与自動車運送株式会社。清水港を中心に、輸出入に関わる「海上コンテナ輸送」「重量貨物輸送」「バルク貨物輸送」等のトラック運送サービスを提供しています。デジタコを用いた安全管理が普及するなど、徐々にIT化が進む運送業界において、IT投資に積極的に取り組む同社。2008年12月に導入し、現在活用中の配送管理システム「TOSS」を中心に、IT活用に関する考えを伺いました。

——「TOSS」導入に至った背景についてお聞かせください。

従来の配車業務は、「どの車を、いつ、どのお客様用に割り当てるか」といったことを、配車担当者の経験と勘を頼りに、すべて手作業で行うのが一般的でした。しかしこの方法ですと、ひとりの配車担当がお客様の要望から、貨物の中身、ドライバーのスキル管理に至るまで、あらゆる情報を把握した上でないと、業務を完遂できません。配車職人と呼ばれるような卓越した業務スキルが備わる一方で、業務が属人化しすぎて経営的にはリスクが生じます。更に管理する車の台数が増えるにつれて業務量が増え、作業時間も膨大になってしまふ。当社の業務の中心に位置する配車業務をどのようにシステム化し、これらの問題をどう解決するかが大きな命題となっていました。

—— 導入したことでどのような変化がみられましたか？

「TOSS」の画面を見れば、受注から配車状況、売上、勤怠管理といった一連の業務状況をひと目で把握できるため、社内全体で業務の流れを共有できるようになりました。また、どの支店からでも同じシステムを使って誰でも簡単に配車業務ができるようになったことも大きな変化です。それによって業務の平準化も進みました。以前は担当者毎に独自のルールや帳票を作って運用していた業務が複数ありましたが、それらの運用方法を一本

化することができ、その点に関して現場の従業員からも一定の評価を得ています。

——「TOSS」という名前には、どのような意味や、思いが込められていますか？

「TOSS」はTransport One Stop Systemの略称で、配送に係わる一連の業務をひとつのプラットフォーム上で一括管理する、という意味が込められています。同時に情報のトス(投げ渡し)と



いう意味もあり、これは単に複数機能を一括管理するだけでなく、管理する情報・機能を上手く連携させることによって相乗効果を生み出すという期待も込められています。

名前を付けたことによって、従業員一人ひとりがシステムを利用する目的や、作業目的が明確に理解できるようになりましたし、システムに対する愛着も湧きました。

——堀川社長自ら「TOSS」をご利用されていることに驚きました。どのような使い方をされていますか？

毎朝出勤したらまず始めに「TOSS」の画面にログインし、日々の売上や、配車状況、お客様情報をチェックするのが日課になっています。従来であれば、週次や月次で集計していた損益情報を、日々把握できるようになり、それをベースに配車シミュレーションや収支評価・比較ができるのは、経営的にも非常に効果的だと実感しています。まさに、「日々決算」ですね。

また、従業員の出勤状況や、それぞれの業務内容・届け先等も確認しています。「誰がどんな業務を担当しているのか」といったことも把握できるので、画面で見た情報をもとに従業員との会話が生まれることもあり、コミュニケーションのきっかけとしても活用しています。その他にも様々な機能があり、私が使っているのはごく一部にすぎませんが、いずれも非常に有益な情報だと感じています。

——現在タブレットを利用したシステム開発など、新たな分野で積極的にITの活用を進めていますね。

「TOSS」の導入によって配車業務の自動化は実現できましたが、ドライバーへ渡す指示書等の配車後の後方処理に関しては手作業のままでした。この部分のシステム化にタブレットを選んだのは、最近になって端末価格自体が下がってきたことに加え、接続環境の整備が急速に進んでいることがありました。協力会社のドライバーへの指示システムをシステムで明確化し、コンプライアンス上の問題もクリアにするという目的もあります。



“朝出勤したらまず始めに「TOSS」の画面にログイン。日々決算の気持ちで収支を確認しています。”

——最後に、SSTへの期待をお聞かせください。

「TOSS」の導入を境に、当社のIT活用に関する考え方はかなり変わりました。それまではITといえば業務の効率化一辺倒でしたが、現在は如何に経営や営業に活用するかが大きなテーマとなっています。「システムに使われる」のではなく「システムを使う」ことで生きたシステムになる。そのためには、当社内での知識レベルの向上や、業務分析や要件定義ができる人材を育成していくことも必要となってくるでしょう。実現に向けては、人材交流や課題解決策の提供を含め、SSTさん抜きでは考えられません。これからも積極的な提案を期待しています！

「TOSS」とは？

運送に関わる一連の業務「受注業務」「配車業務」「請求支払業務」「実績業務」を、データを途切れさせることなく連携させ、一括管理するシステム。画面上でドラッグ&ドロップするだけで配車、解除が可能。業務の効率化及び標準化を実現すると同時に、日々の配車業務の指標として配車シミュレーション、収支評価を可能にする。

お客さまプロフィール



鈴与自動車運送

鈴与グループの
強いフットワークになることを目指し、
協力会社も含めて真に自立した
〈共生〉の精神を発揮する。

社 名： 鈴与自動車運送株式会社
所 在 地： 静岡県静岡市清水区興津清見寺 1375-51
資 本 金： 1億円
設 立： 昭和25年4月15日
従業員数： 151名(2013年12月現在)
事業概要： 輸出入にかかわる海上コンテナ輸送、
セメント・チップ等のバルク貨物輸送、
重量貨物輸送
U R L： <http://www.suzuyojidousha.co.jp/>

鈴与システムテクノロジー株式会社 [略称 SST]

〒424-0888 静岡県清水区中之郷 2-1-5 鈴与信息センタービル <http://www.sst-web.com/>
*情報は平成25年12月現在

◆本システムに関するお問合せ◆

sst-sisales@sst-web.com